

平成 27 年度 石狩市教育委員会会議（6 月定例会）会議録

平成 27 年 6 月 30 日（火）

開 会 10 時 00 分

第 2 委員会室

○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
委員長 徳 田 昌 生	○		
委 員 門 馬 富士子	○		
委 員 松 尾 拓 也	○		
委 員 山 本 由美子	○		
教育長 鎌 田 英 暢	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	百 井 宏 己
生涯学習部次長（教育指導担当）	武 田 淳
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	蛭 谷 学 俊
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	熊 谷 隆 介
教育支援センター長	板 谷 英 郁
特別支援教育担当課長	森 朋 代
学校給食センター長	成 田 和 幸
市民図書館副館長	清 水 千 晴
生涯学習部参事（指導担当）	濱 本 賢 一
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	高 石 康 弘

議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告事項

- ① 平成 27 年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」について
- ② 石狩市教育委員会基礎データについて

日程第 4 その他

日程第 5 次回定例会の開催日程

開会宣告

（徳田委員長）只今から、平成 27 年度教育委員会会議 6 月定例会を開会します。

日程第 1 会議録署名委員の指名

（徳田委員長）日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、門馬委員にお願いします。

日程第 2 教育長報告

（徳田委員長）日程第 2 教育長報告を議題とします。

（鎌田教育長）それでは、私の方から出席しました主な諸会議等につきまして、報告いたします。

まず、一昨日、6 月 28 日にサイエンスアイの 10 周年記念事業ということで、ノーベル化学賞受賞者であります 鈴木 章 北海道大学名誉教授を迎えての講演会を開催しました。主催者発表では約 500 名という沢山の市民の参加のもとで

盛大に開催し、10周年を祝ったところです。教育委員の皆様にはいろいろなかたちでご協力をいただきましてありがとうございました。

続いて報告いたします。5月29日に、第1回石狩市議会臨時会が開会されました。今回は市議会議員選挙後ということで、新人議員3名を含めた全議員による議長、副議長の選任案件ということで、市議会の人事体制を審議し、人事が決まったところです。議長には伊藤一治議員、副議長には長原徳治議員、所管の建設文教常任委員会の委員長には上村 賢議員が選出されたところでございます。また同日をもって、今年度の市内学校訪問・面談を全て終了しました。今回の訪問では、授業も見学させていただき、各校で子ども達の頑張っている様子を見ることができました。

次に、5月30日に、市内中学校4校の体育祭が開催され、6月6日以降には小学校の運動会が毎週開催され、6月27日に開催された厚田小学校・中学校の合同による運動会をもって、今年度の全校の体育祭・運動会が終了しました。それぞれ子ども達の頑張りをしっかり見てきたところです。

6月1日には、石狩教育局の教育支援課長が来訪され、今、道教委が進めようとしている「子どもの体力向上事業」の指定校について説明を受けたところです。具体的には保健体育を専門とする大学教授等に、学校へ出向いていただいて、体育授業の改善充実に向けたアドバイスをもらうという内容のもので、道内で5校を指定する予定で、市内では石狩小学校がその指定を受けて、まもなくこの事業が始まるということになっています。

6月3日には、市民図書館の開館15周年を記念する誕生会が行われ、15周年にちなんだ石狩産のイチゴや誕生日ケーキなどが来場者にプレゼントされたほか、ミニコンサートも行われるなど、楽しい記念イベントとなりました。

6月5日には、石狩ライオンズクラブ認証40周年記念式典・祝賀会が札幌プリンスホテルで開催されました。この度、市内の全小学校に図書が寄贈され、また花川南中学校にはサッカーゴールを寄贈していただくこととなり、式典において渡辺会長から目録をいただいたところです。

6月8日には、全道都市教委連の平成28年度の文教施策に関する道教委への要望活動ということで、都市教委連からは山中会長と、教育長会の会長として札幌市の教育長である長岡教育長のほか12名が参加し、道教委の新教育長である柴田教育長へ要望書を提出してきたところです。

6月10日には、第2回定例会市議会が開会し、市長選挙、市議会議員選挙後の最初の定例会ということで、開会初日の冒頭に市長から所信表明と、私から教育行政執行方針を申し上げ、26日までの会期の間において、第1回定例会で採択された当初予算に加え、政策的予算としての補正予算等の案件について審議いただいたところです。

6月12日には、ホクレン女子陸上部による陸上教室が花川南小学校で行われ、選手・コーチが同小学校6年生99人に対して、走り方の指導アドバイスをいただきました。子ども達は最後にクラス対抗リレーを行い、全員での記念撮影をするなど、一流選手との楽しいひと時を過ごしました。

6月16日と17日には、第2回定例会の一般質問が行われ、教育関係の質問は2名の議員から、4項目にわたる質問を受けました。1点目は、樽川5条地区の宅地分譲に伴う児童生徒の増加に関するもの、2点目は、学校司書に関するもの、3点目は、食育に関するもの、4点目は、部活動の今後のあり方に関するもの、以上4項目についての質問を受けたところです。

最後に、本日午後から北方領土復帰期成同盟石狩地方本部総会に出席することとなっております。私からは以上です。

(徳田委員長) ありがとうございます。只今、教育長から報告がありましたが、この件について、ご質問等ありませんか。

(松尾委員) 新しい市議会議員の関連ですが、教育委員会所管の建設文教常任委員会の構成委員を教えてくださいと思います。

(百井部長) 委員長には上村議員、副委員長に花田議員が就任されており、その他の委員につきましては、後ほど名簿を配布させていただきますので、宜しくお願いいたします。

(徳田委員長) 他に質問等はありませんか。

(徳田委員長) 質問等がないようですので、教育長報告を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、教育長報告を了解しました。

(徳田委員長) 以上で、日程第2 教育長報告を終了いたします。

日程第3 報告事項

(徳田委員長) 次に、日程第3 報告事項を議題とします。

① 平成27年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」について

(徳田委員長) 報告事項① 平成27年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」について、事務局から説明をお願いします。

(濱本参事) それでは私から、説明申し上げます。期日は7月28日から8月5日までの計6日間、11講座を行うものです。目的としましては、本市の教育目標の達成及び現代的教育課題を解決するため、専門的知識や実践的指導力など、教職員に求められる資質の向上を図ることとしております。座学の講座は勿論、フィールドワークや体験型の演習、ワークショップを取り入れた研修内容を企画しました。この研修を通して、夏休み明けからの授業改善が図られればと考えております。研修内容のご承認をいただきましたら、開催周知と参加希望の集約をしてまいりたいと考えております。私からは以上です。

(徳田委員長) ありがとうございます。只今、事務局から報告がありましたこの件について、何かご質問等ありませんでしょうか。

(徳田委員長) 私から一点お伺いしますが、これから参加申込が行われるということですが、例年この研修にどのくらいの市内の教職員が受講されていて、また市外の教職員の参加などについても教えていただければと思います。

(濱本参事) 例年80%を超えた受講となっております。市外の教職員の受講については、資料を持ち合わせておりませんので、後ほどお伝えしたいと思います。

(徳田委員長) わかりました。以前に、この研修にされていた先生が他市町村に異動された後でも、続けて受講されているというようなお話を聞いたことがありましたのでお伺いしました。

(百井部長) 研修内容等について市外に伝わって本市の研修に出たいという教職員がいらっしゃるようで、拒むものではありませんが、基本は市内の教職員を対象にしているということでご理解をいただきたいと思います。

(徳田委員長) 石狩市の研修は非常に評判が良いという話を伺ったことがあるので、どの程度参加されているのかと思ったところです。

(蛭谷課長) 例えばウインターセミナーにおいて、学校力総合実践事業でもあり市の研修でもあるという場合には、管内から広く参加されるということになりますが、今回のサマーセミナーの趣旨としては基本的には石狩市内の教職員を対象に行うということで開催しております。

(門馬委員) このサマーセミナーは、石狩市の教職員を対象としていますが、管内の他市町村ではこのような研修は行われているのでしょうか。

(濱本参事) 各市町村でもこのような研修を教育委員会が中心にそれぞれ取り組んでおります。

(門馬委員) わかりました。

(徳田委員長) 他にご意見等ございませんでしょうか。

(徳田委員長) 質問等がないようですので、報告事項①を了解ということによりましょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、報告事項①を了解いたしました。

② 石狩市教育委員会基礎データについて

(徳田委員長) 次に、報告事項②石狩市教育委員会基礎データについて、事務局から説明をお願いします。

(蛭谷課長) それでは私から説明申し上げます。お手元に別冊として配布させていただきますいております。この資料についてですが、目次には1番目に「平成 27 年度小中学校児童生徒数・学級数」を始めといたしまして、全部で4つの項目について関連するデータ、数値等を記載しております。これらのデータにつきましては、国の指定統計や調査としての位置づけ、教育施設の利用状況など、各所管課が必要なデータとして把握しているもので、項目ごとにデータが整い次第、従来は教育委員会会議で報告させていただいてきたところですが、これらの数値につきましては、調査の実施時期や決算と関連の深いものなど、それぞれデータの集計時期に違いがあるものの、所管課の関連データとしては毎年把握すべき性格のものであるということで、昨年度より各データについてまとめたものを、このような別冊資料というかたちで提供させていただいたものです。今年度についても同様に委員の皆様提供させていただいくものでございます。今後この資料につきましては、議会にも提供することを予定しているほか、市のホームページでも公表を予定しているところでございます。私からは以上です。

(徳田委員長) ありがとうございます。只今、事務局から報告がありましたこの件について、何かご質問等ありませんでしょうか。

(徳田委員長) 私から一点お伺いしますが、平成 27 年度小中学校児童生徒数・学級数の資料の中で、太枠のところが少人数学級の実践研究事業の対象校となっておりますが、例えば南線小学校で 147 人のところは、学級数はいくつになるのでしょうか。

(蛭谷課長) この表の太枠のところは、南線小学校と緑苑台小学校の 2 年生と樽川中学校の 1 年生で、この意味は北海道が実施している少人数学級実践研究事業ということで、35 人を 1 学級（クラス）の標準として編成しているものです。南線小学校の 2 年生ですと 5 学級（クラス）となります。通常、国（文科省）の制度では小学校 1 年生は通常学級で 35 人と定めていますが、北海道についてはそれに加えて、小学校 2 年生と中学校 1 年生についても少人数学級実践研究事業を行っています。

(徳田委員長) そうしますと、南線小学校は道の実践研究事業がなければ 4 クラスになるということですね。

(蛭谷課長) はい。通常の 40 人標準学級となりますので、道の独自事業が行われなければ 4 クラスになるということです。

(徳田委員長) はい。わかりました。

(徳田委員長) 他にご質問等ございませんでしょうか。

(徳田委員長) 質問等がないようですので、報告事項②を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、報告事項②を了解いたしました。

(徳田委員長) それでは次に、日程第 4 その他を議題といたします。

(徳田委員長) 事務局から何かございますでしょうか。（事務局から無し）

(徳田委員長) 教育委員の皆様から、何かございませんでしょうか。

(徳田委員長) それでは、特に無いようですので、以上で、日程第4 その他を終了します。

日程第5 次回会議の開催日程

(徳田委員長) 日程第5 次回会議の開催日程を議題とします。

(徳田委員長) 次回については、7月24日の金曜日、13時30分からの開催を予定しております。よろしくお願い申し上げます。

閉会宣告

(徳田委員長) 以上をもちまして、6月定例会の案件は、全て終了いたしました。以上で、平成27年度教育委員会会議6月定例会を閉会いたします。

閉 会 10時20分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成27年 8月19日

委員長 徳 田 昌 生

署名委員 門 馬 富士子